

13021 発達心理学 Developmental Psychology		1 年次～ 前期 2 単位			
担当者	室谷 直子	履修可能学科	E Pe C		
		関連資格			
サブタイトル	子どもが育っていく道すじ				
授業内容 ねらい	<p>授業内容 人間の発達過程を、幼児期・児童期を中心に心理学的視点からとらえ、その基礎的理解を目指します。授業では、発達段階に沿って、認知、ことば、社会性といった諸側面から子どもの発達を概観する中で、子どもの実像・臨床像との連続性を重視します。</p> <p>ねらい 将来子どもの教育や援助に関わる者にとって、子どもの発達上の特性を理解することは重要で、援助の指針を立てる上でも必要です。そのための基礎的知識を身につけ、さらに、自らの発達過程とも積極的に向き合いながら、発達の意味やそのとらえ方について各々が理解を深めることを目標とします。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. 発達心理学への招待 2. 発達とは (1) 遺伝か環境か (2) 成熟と発達 3. 乳児期までの発達 4. 幼児期 (1) 身体と認知の発達 (2) 社会性の発達 (3) 幼児の遊び </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> 5. 児童期 (1) 身体と言語の発達 (2) 認知の発達 (3) 自己と社会性の発達 (4) 学校への適応 6. 青年期 7. 障害児の発達とその援助 (1) 発達上の障害 (2) 障害児の支援 8. まとめ </td> </tr> </table>			1. 発達心理学への招待 2. 発達とは (1) 遺伝か環境か (2) 成熟と発達 3. 乳児期までの発達 4. 幼児期 (1) 身体と認知の発達 (2) 社会性の発達 (3) 幼児の遊び	5. 児童期 (1) 身体と言語の発達 (2) 認知の発達 (3) 自己と社会性の発達 (4) 学校への適応 6. 青年期 7. 障害児の発達とその援助 (1) 発達上の障害 (2) 障害児の支援 8. まとめ
1. 発達心理学への招待 2. 発達とは (1) 遺伝か環境か (2) 成熟と発達 3. 乳児期までの発達 4. 幼児期 (1) 身体と認知の発達 (2) 社会性の発達 (3) 幼児の遊び	5. 児童期 (1) 身体と言語の発達 (2) 認知の発達 (3) 自己と社会性の発達 (4) 学校への適応 6. 青年期 7. 障害児の発達とその援助 (1) 発達上の障害 (2) 障害児の支援 8. まとめ				
教科書 参考書	授業の中で随時紹介します。				
評価方法	学期末試験の結果に授業での提出物（出席確認を含む）を加味し、総合的に評価します。				
事前準備学習 履修条件等					